



東北初

FUS

MRガイド下集束超音波治療始まる

令和2年1月発行の広報みやぎ66号で発表していた本態性振戦に対するMRガイド下集束超音波治療 (Focused Ultrasound Surgery : FUS)を8月から開始しました。コロナ禍の影響で施設見学がなかなか難しい状況もあり、予定通りに開始できるか不安でしたが、熊谷総合病院や大西脳神経外科病院のご協力もあり、どうにか当初の予定通りにいきました。また広報活動として7月には内覧会を行いNHKや仙台放送、河北新報でそれぞれ東北初の医療機器導入と取り上げてもらいました。この反響はかなり大きく、その後東北地方全体から治療についての問い合わせがきました。



第一例目は8月18日に行っています。主治医の永松先生から記念すべき一例目として地域連携室だよりに手術記を寄せてもらいましたのでそれを紹介します。

「実際の治療の様子を見てみましょう。毛髪は照射の妨げになるため、頭部は完全に剃毛します。MRI室前室で定位手術用フレームを頭部にピンで装着したのち、MRI室で照射装置に頭部を固定し、事前にMRI上で計画した標的に超音波が集束されるように装置の設定を行い、照射を開始します。低エネルギーから始めて段階的にエネルギーを上げながら複数回の照射を行い、温度が上昇した範囲や程度を確認しながら微調整をしていきます。照射の合間には患者さんの症状改善や合併症出現の有無を適宜確認しながら進めて行きます。今回は左上肢の運動時振戦への治療が目的でしたので、右視床中間腹側核という部位を標的として計10回の照射を行い、所要時間はフレーム装着から治療終了まで約4時間でした。左上肢の振戦の軽減が得られ、お碗を持って食事したのは10数年ぶりだと大変喜んでおられました。」

実際一緒に治療に携わった者の感想として医療技術の進歩には驚かされました。これまで当院で長年行ってきた脳深部刺激術はミリ単位の正確性を持ってできていると自負していましたが、FUSの場合0.数ミリ単位で凝固巣作成が可能ですので治療効果の向上や副作用の低減につながると思われます。(次ページへ続く)

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコットキャラクター
「みやべりー」



その後の症例では患者さんの協力の下、実際の治療現場を直接仙台放送で放映してもらいました。この放送や多くの医療機関に郵送したFUSの紹介パンフレットの効果もあり現在来年の2月まで治療予定が埋まっています。長年振戦に苦しんでいた多くの患者さんの期待になるべく早く答えられるよう今後は治療日の追加も考えています。

また、9月からは薬剤難治性パーキンソン病に対する振戦及び運動症状緩和を目的とした治療についても保険適応となりました。パーキンソン病に対する外科治療の中心は今後も脳深部刺激術と考えていますが、これまでの経験上、振戦優位型のパーキンソン病の場合FUSでかなりADL改善が見込まれる例があると思います。今後は本態性振戦だけでなくパーキンソン病でも適応と思われる症例あるいは適応に迷うような症例について地域医療連携室にご相談ください。

(特命副院長 脳神経外科 安藤 肇史)

令和2年度「山元町及び亙理町並びに宮城病院との相互協力協定に基づく意見交換会」の開催について

令和2年9月24日、宮城病院にて「山元町及び亙理町並びに宮城病院との相互協力協定に基づく意見交換会」が開催されました。

この会議は、平成27年に両町と宮城病院で締結された相互協力協定に基づき平成28年度から毎年開催されているもので、今年度で5回目の開催となりました。会議には、齋藤俊夫山元町長、山田周仲亙理町長、永野功宮城病院長をはじめとしてそれぞれの関係者が一同に会して、令和元年度連携事業及び令和2年度事業計画について意見交換が行われ、地域医療の推進、地域包括ケアの推進、健康づくりの推進、その他相互の連携・協力について意義深い話し合いが持たれました。両町を代表して齋藤山元町長からは、新型コロナウイルスの時期ではありますが、両町から宮城病院への激励の言葉をいただき、永野院長も今後に向け診療体制の充実など三者で確認いたしました。

今年で5回目となる意見交換会は、想定外の新型コロナウイルスによる影響もあり、各事業内容も中止や縮小といった状況において、安心して地域医療を受けられるよう、地域の医療がさらに充実することを三者で確認し合いながら、更なる両町と宮城病院との強い結びつきを実感することができました。(管理課長 大坂 雄二)



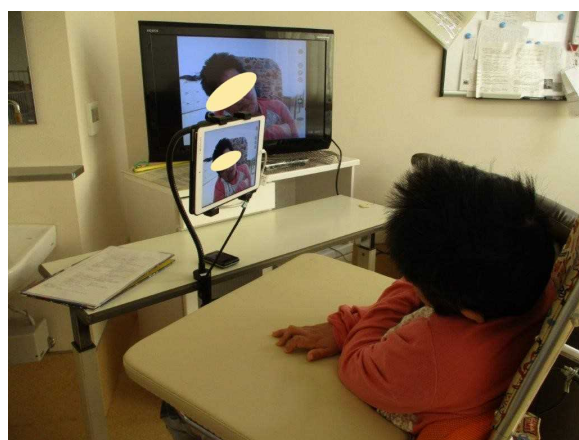
iPadによる山元支援学校のリモート授業

「〇〇さん、こんにちは！元気ですかー？」モニターから担任の先生の呼びかけに、笑顔や動作で受け答えをしたり、じっとモニターを注視したり。当院あすなる病棟に入院する学齢期等の利用者様は、隣接する山元支援学校での学校教育が行われていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策から、ベッドサイドでの対面学習も限られた時間での対応となっています。少しでも教育機会を確保する手段として、病棟内家族ボランティア室にモニターセットし、タブレット端末のビデオ通話機能を使い、「リモート授業」を行っています。開始時間になると学校から着信、先生が画面越しに声をかけます。利用者様は声を出して笑顔を見せたり、手足を動かしたり。画面越しの先生を不思議に思っじっと見入ったりと様々な反応が伺えます。挨拶や連絡の伝達、事前にお預かりした教材等を使った歌や楽器遊び、スキンシップ等の触れあいを病院スタッフが支援しながら授業を進めていきます。通常より短い時間設定で、授業が終わる頃には、名残惜しい表情を浮かべている姿も見られますが、「次回の対面授業を楽しみにしていますよー！」と声をかけられ、先生との交流を楽しみにする学習意欲を感じとれます。

感染拡大防止の状況下、重い障がいのある利用者様へのリモート授業の取り組みは、学齢期児童等の成長や発達の視点にたった学校教育の重要性を感じる事が出来る取り組みと感じます。通常授業が行えるような環境を待ち望みながら、リモート学習の取り組みを支援していきたいと思ひます。



(療育指導室長 山崎 宣之)



サーモグラフィーカメラによる検温開始



当院では、新型コロナウイルス感染防止対策のため、6月下旬からサーモグラフィーカメラによる検温を開始しました。正面玄関に設置し、院内を利用される全ての方に測定していただき、併せて手指消毒もお願いしています。

このサーモグラフィーカメラは、人の顔を認識しマスクの有無も検知するため、マスクを着用せずに測定すると「マスクを着用して下さい。」と警告アナウンスが流れます。

また、37.5℃以上の体温を検知するとブザー音が鳴る仕組みなのですが、今年の夏は猛暑だったため、炎天下の中いらした方のなかには、誤ってブザーが鳴るといことが度々ありました。

新型コロナウイルスの終息には、まだ時間がかかりそうですが、当院をご利用いただく全ての方の安心・安全を最優先に努めて参ります。

(専門職 遊佐 博子)

永年勤続職員表彰

去る5月22日、今年度の永年勤続表彰式が行われました。

今年度は20年以上永年勤続者が6名の表彰でした。新型コロナウイルス感染防止のため、院長他幹部と被表彰者のみという例年と違う形式でしたが、院長より一人ずつ表彰状・銀杯を授与されました。

健康に留意し、家族の支えあつての永年勤続であり、今後も30年勤続に向けて一層活躍してほしいと院長より式辞がありました。受賞されました皆様、おめでとうございます。(庶務係長 小原 有里)



勤続20年以上表彰者

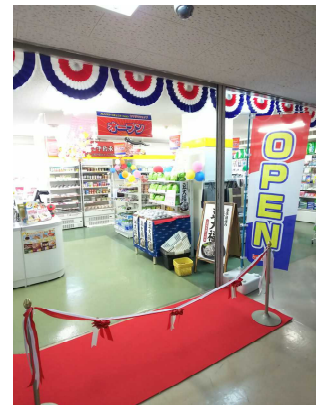
星 康子 (看護師長)	今野 比呂志 (副調理師長)
及川 喜弘 (放射線技師)	加藤 佳子 (作業療法士)
小田島 かおり (看護師)	山崎 正子 (看護師)

コンビニエンスストア『ヤマザキYショップ』OPEN

当院の売店が令和2年6月1日からヤマザキYショップにリニューアルしオープンいたしました。リニューアルした売店の最大の特徴は、商品の種類が増えたことで、患者さんやご家族、そして職員がととても利用しやすくなったことだと思っております。加えて、定期的にイベント的なセールを実施することで、売店の魅力維持にも力をいただいております。これから宮城病院の売店として、常に魅力のあるものとして末永く運営を継続していくためには、売店の企業努力だけではなく、利用する患者さんやご家族、そして職員が数多く利用することが必要になりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



(企画課長 岩崎 仁)



南a病棟で映画撮影

～ Life 線上の僕ら ～

今年2月、映画関係会社「せんだい・宮城フィルムコミッション」の方より、映画のワンシーン撮影に協力してほしい旨依頼がありました。

撮影は当院南病棟の病室を使った撮影でしたが、本映画は、オール宮城で撮影され、亘理郡内でのロケも多くあるとのことでした。

撮影後も新型コロナウイルスの影響などにより完成が遅れたようですが、無事に劇場公開が決定したようです。

オール宮城で撮影された映画の一部に貢献できたことを嬉しく思います。

せんだい・宮城フィルムコミッション公式HP

<https://www.smfc-feature.com/life/>



(管理課長 大坂 雄二)

地域包括支援センターとは！？

山元町地域包括支援センターは職員8名で業務にあたっています。うち、2名は生活支援コーディネーターです。

「生活支援コーディネーター」とは…高齢になっても地域でその人らしく、いつまでも暮らしていけるように、地域住民と地域のお宝や文化を生かし、つなぎの役割で支援を行って行きます。

認知症高齢者家族交流会…介護者自身のリフレッシュ、認知症についての勉強会、認知症家族介護者の経験談などを通し、介護負担軽減も含め語り合う機会を設けております。

認知症カフェ「よりどころサロン」…脳トレ、音楽療法、認知症ミニ講話、リズムに合わせて軽運動など行っております。

「高瀬ガーデンかふえ」…高瀬地区の住民対象に脳トレ、軽運動など介護予防ボランティアさんの協力のもと実施しております。

フラワースマイル訪問…山元町の80歳以上の独居高齢者（サービスに繋がっていない方）の状態確認と地域イベントに繋がっています。（地域包括支援センター 保健師 佐藤 かおり）



高瀬ガーデンかふえ



日めくりカレンダー
を作りました

認知症カフェ「よりどころサロン」

連携室のコーナー

～医療相談室について～

こんにちは！医療相談員の木村です。今回は、「医療相談室」についてお伝えできればと思います。

医療相談室と聞くと、少し敷居が高く感じるかもしれませんが、入院生活・通院への心配事や医療費の支払い、また病気やケガによって生じる不安や課題について一緒に考え、解決のお手伝いをさせていただきます。

例えば、「**介護が必要と言われたけど、どうやって生活すればいいの…**」「**自宅での介護が大変になってきた**」「**障害者手帳ってなに？**」「**何をどこに相談すればよいかわからない…**」など、まずはお気軽に悩みや不安を相談員にお聞かせください。必要に応じて、他の医療機関、行政、福祉サービスなどとも連携を取らせていただきます。また公的制度や社会福祉サービスなどの活用によって、患者様・ご家族様が自分らしく社会生活を送れるよう支援させていただきます。（地域医療連携室 相談員 木村 麻美）

（つくし保育園）園内行事「キラキラ☆三なまつり」を開催

今年度の夏まつりは、新型コロナウイルス感染症防止策として園内で、保育時間中に行いました。例年ですと、保護者の皆さんと一緒に夏のひとときを子どもたちの笑顔の中で過ごし、保護者の皆さんの協力をいただきながら出店で賑わう行事でしたが、「子供たちにとって特別な日にしたい」と、職員も奮起し今年度は3日間の保育行事として計画しました。

1日目は、「花火を作ろう！」をテーマに全児で夜空に輝く「花火」を作りました。



2日目「おみこしわっしょい！」では、お神輿を肩に乗せたり、手で持ったり「わっしょい！」の掛け声で園庭を回りました。3日目は親の会の役員さんのお手伝いをいただき、出店を楽しみました。子供たちのキラキラした表情とわくわく笑顔がこぼれる3日間のなまつりになりました。



（つくし保育園 園長 島田 さゆり）

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	久永 欣哉	渡辺 靖章	宮澤 康一	松本 有史	
	再来	永野 功	久永 欣哉	川崎 永美子	久永 欣哉	久永 欣哉
		渡辺 靖章		松本 有史		金子 仁彦 (隔週)
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齊藤 秀行	中川 孝			東北大学病院から
循環器内科	午前		東北大学病院から	加藤 浩		
	午後	東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科				東出 直樹		蒲生 俊一
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前	八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後		(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科				舘 一史		澤村 武 渡部 紀久子 (隔週交替 13:30~15:30)
皮膚科					東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一			
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	糖尿病外来				東北大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎
	腎臓病外来	午後			若林病院から (第1・3週)	
入れ歯外来				伊藤 秀美	伊藤 秀美	

受診される方へ-----交通のご案内-----

①受付時間は8:30~11:00です。

②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始
(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、**急患の方は随時受付いたします。**

お問い合わせ先 0223-37-1131

③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と

6号線分岐点から南へ20km、

国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで

降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。

(詳しくはお問い合わせください)

